

ロタウイルス胃腸炎とは？

- ほとんど100%の乳幼児がかかる胃腸炎で、「ロタウイルス」に感染することで起こります。
- ひどい脱水やけいれんなどの重い症状が出やすいことが知られています。

ロタウイルス胃腸炎の症状

下痢	白っぽく米のとぎ汁のような便。血便はみられない
おう吐	突然のおう吐で始まることが多い
発熱	かかった子どもの3割から5割くらいでみられる
その他	下痢やおう吐からくる脱水、昏睡（意識障害）、腹痛、食欲不振など
合併症	まれに腎不全、脳炎・脳症などを合併することもある

脱水の兆候

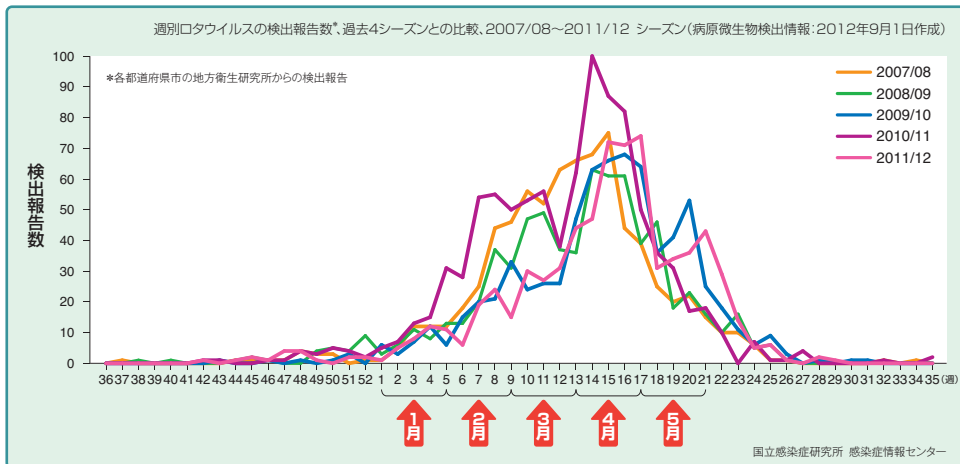


*現在のところ、ロタウイルス胃腸炎に対する治療薬（抗ウイルス薬）はありません

流行期は？

- ロタウイルス胃腸炎は毎年、冬から春にかけて流行がみられます。

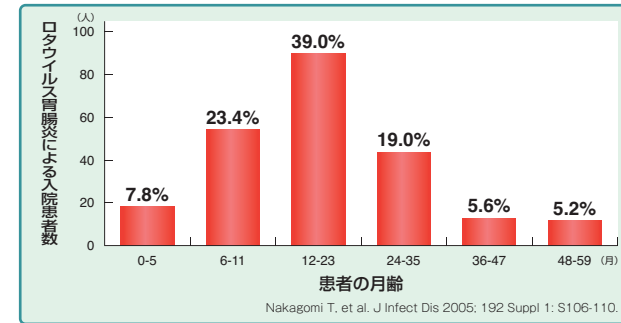
ロタウイルス疾患の季節性



重症化しやすいのは？

- 生後3か月以降に初めて感染したときに重症化し、何度か感染すると症状が軽くなるかとされています。
- 入院が必要なロタウイルス胃腸炎を起こすのは、生後6～23か月の乳幼児が中心です。

ある病院にロタウイルス胃腸炎で入院した患者の月齢



感染ルートと予防法は？

- ロタウイルスは患者さんの便や吐物に含まれ、手指を介して口に入り感染します。
- ロタウイルスは非常に感染力が強いため、手洗いや消毒による予防が完全にはできません。



ロタウイルス胃腸炎の重症化は、ワクチン接種によって防ぐことができます。